

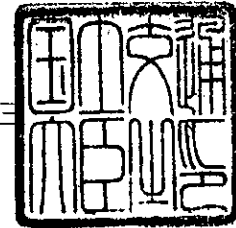


認定書

国住指第 260 号
平成 20 年 6 月 18 日

住友金属鉱山シボレックス株式会社
代表取締役社長 伊藤 敬 様

国土交通大臣 冬柴 鐵三



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 26 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法第 2 条第七号及び同法施行令第 107 条第一号（柱：1 時間）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
FP060CN-0340
2. 認定をした構造方法等の名称
ALCパネル／ALCパネル合成被覆／鋼管柱
3. 認定をした構造方法等の内容
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存してください。

1. 構造名：
ALCパネル／ALCパネル合成被覆／鋼管柱

2. 申請仕様の寸法：
申請仕様の寸法を表1に示す。

表1 申請仕様の寸法

項 目	申 請 仕 様
鋼管柱	角形鋼管 断面寸法：□-300×300×9mm以上
外壁	厚さ：100mm以上
被覆材	厚さ：50mm以上
外壁と鋼管柱の間隔	30～100mm

3. 申請仕様の主構成材料：

申請仕様の主構成材料を表2に示す。

表2 申請仕様の主構成材料

項目	申請仕様
鋼管柱	断面形状：角形鋼管 鋼材の種類：①～④の一 ①一般構造用角形鋼管 (JIS G 3466) STKR400、STKR490 ②一般構造用圧延鋼材 (JIS G 3101) SS400、SS490 ③溶接構造用圧延鋼材 (JIS G 3106) SM400、SM490 ④建築構造用圧延鋼材 (JIS G 3136) SN400、SN490
外壁	材料：ALCパネル (JIS A 5416) (平成12年建設省告示1399号に適合する壁) 厚さ：100mm以上
被覆材	材料：ALCパネル (JIS A 5416) 配合：珪石 54±10質量% セメント 33±9質量% 生石灰 5±3質量% せっこう 7±3質量% 添加剤(有機質分0.38質量%以下) 1質量%以下 表面の形状：①又は② (図3参照) ①平滑 ②溝加工 最低厚さ：40mm以上 (溝加工部)、32mm以上 (小口部) 溝部の容積欠損率：9.2%以下 密度：500±50kg/m ³ 製品寸法：幅317.6～600mm、長さ1800～3000mm 配筋：鉄線 (JIS G3532) ①又は② ①：線径2.6～3.7mm、幅方向間隔100mm、長手方向間隔150mm 本数6本 (製品幅600mmあたり) ②：線径1.2mm、幅方向間隔25.5～27mm、長手方向間隔35～95mm 本数22本 (製品幅600mmあたり)

4. 申請仕様の副構成材料：

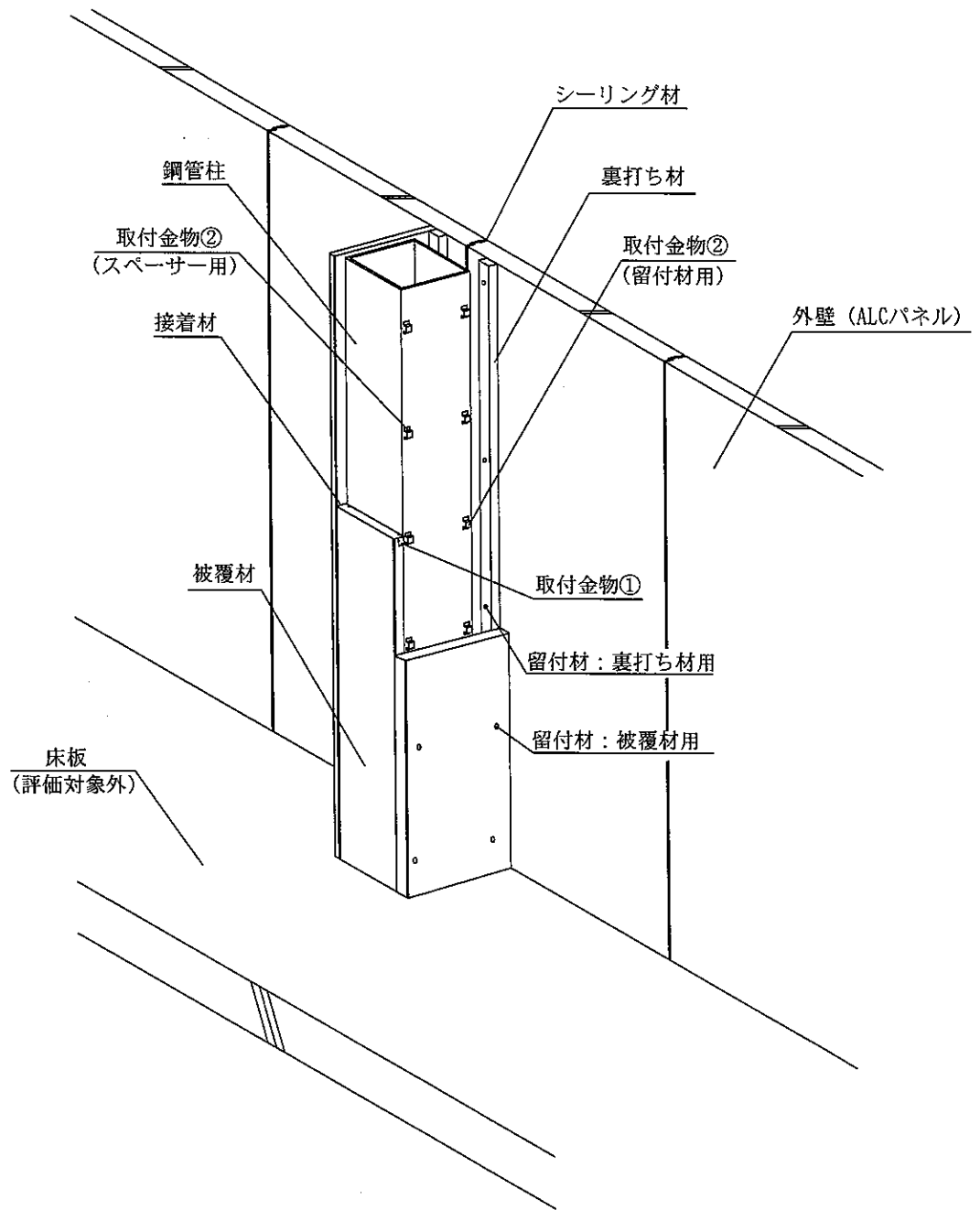
申請仕様の副構成材料を表3に示す。

表3 申請仕様の副構成材料

項目	申請仕様
取付金物 (図2参照)	<p>取付金物① 材料：冷間圧延鋼板 (JIS G 3141) 寸法：L -30×30×40×1.2mm 取付間隔：450mm以下 (金物の爪を用いて被覆材に取付ける)</p> <p>取付金物② (留付材用及びスペーサー用) 材料：冷間圧延鋼板 (JIS G 3141) 寸法：L -30×50×10×1.6mm 取付間隔：450mm以下 (鋼管に溶接で取付ける)</p>
留付材	<p>被覆材用 (タッピンねじ) 材料：①、②又は③ ①冷間圧造用炭素鋼 (JIS G 3507-1：線材、JIS G 3507-2：線) ②冷間圧延鋼板 (JIS G 3141) ③冷間圧造用ステンレス鋼線 (JIS G 4315) 寸法：φ5×長さ50mm以上 留付間隔：450mm以下 (取付金物①及び取付金物② (留付材用) の位置に留付材を留付ける)</p> <p>裏打ち材用 材料：くぎ (JIS A 5508) 寸法：N75以上 留付間隔：400mm以下</p>
接着剤	<p>材料：シリカ・けい酸ソーダ系 配合：シリカ 45～55質量% けい酸ソーダ 30～40質量% カオリン 5～15質量% 使用量：180g/m以上</p>
裏打ち材	<p>材料：①又は② ①ロックウール保温板 (JIS A 9504) ②セラミックファイバースランケット (JIS R 3311) 寸法：幅50mm以上、厚さ30～50mm 密度：80kg/m³以上</p>
シーリング材	<p>材料：①～⑦の一 (JIS A 5758) ①ポリウレタン系 ②アクリル系 ③アクリルウレタン系 ④ポリサルファイド系 ⑤変成シリコーン系 ⑥シリコーン系 ⑦ポリイソブチレン系 使用量：110g/m以上</p>
埋戻し材	<p>被覆材用留付材部分の埋戻し 材料：セメント系 配合：白色セメント 50質量% ALC粉末 30質量% パーライト 20質量%</p>

5. 申請仕様の構造説明図：

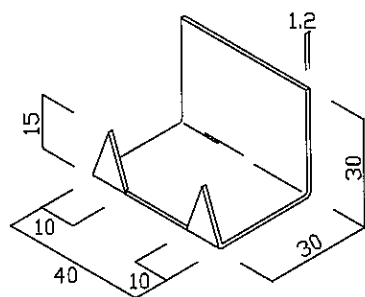
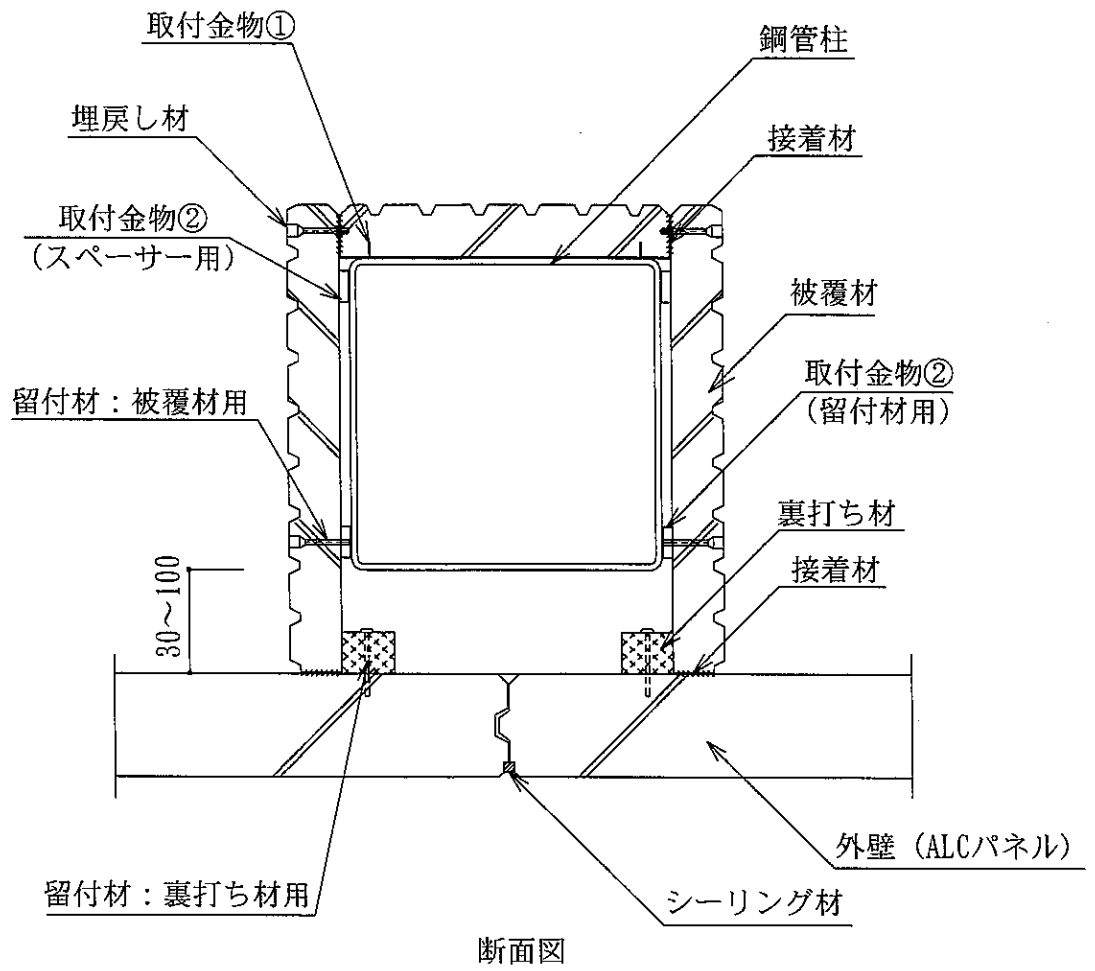
申請仕様の構造説明図を図1～図3に示す。



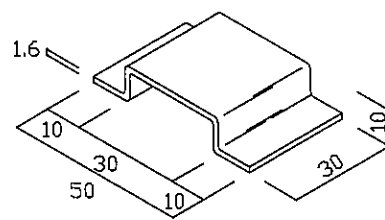
透視図

図 1 構造説明図

単位 mm



取付金物① 詳細図

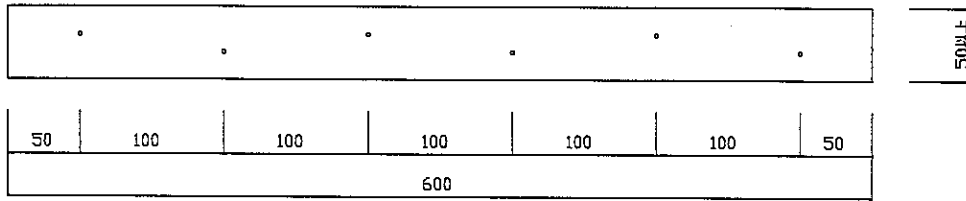


取付金物② 詳細図

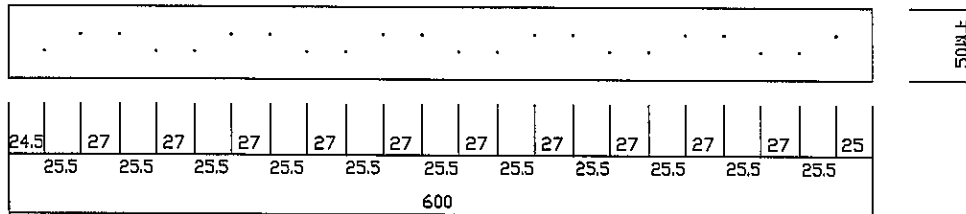
図2 構造説明図

単位 mm

① 線径2.6~3.7mm、幅方向間隔100mm、長手方向間隔150mm、本数6本（製品幅600mmあたり）

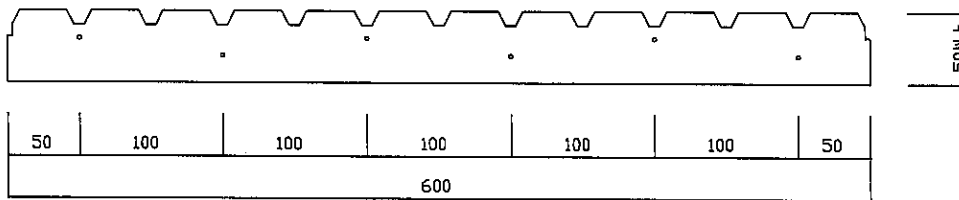


② 線径1.2mm、幅方向間隔25.5~27mm、長手方向間隔35~95mm本数22本（製品幅600mmあたり）

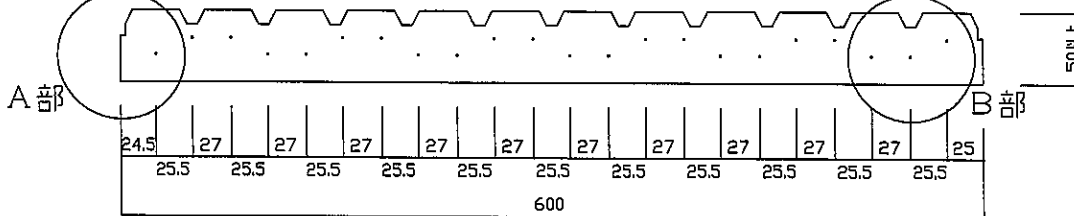


表面形状が平滑の場合

① 線径2.6~3.7mm、幅方向間隔100mm、長手方向間隔150mm、本数6本（製品幅600mmあたり）



② 線径1.2mm、幅方向間隔25.5~27mm、長手方向間隔35~95mm本数22本（製品幅600mmあたり）



表面形状が溝加工の場合

被覆材（ALCパネル）の配筋詳細図（製品幅方向）

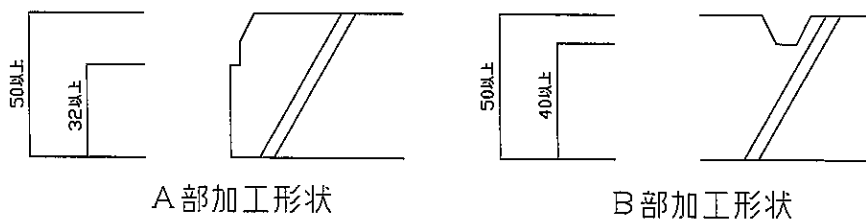


図3 構造説明図

6. 施工方法

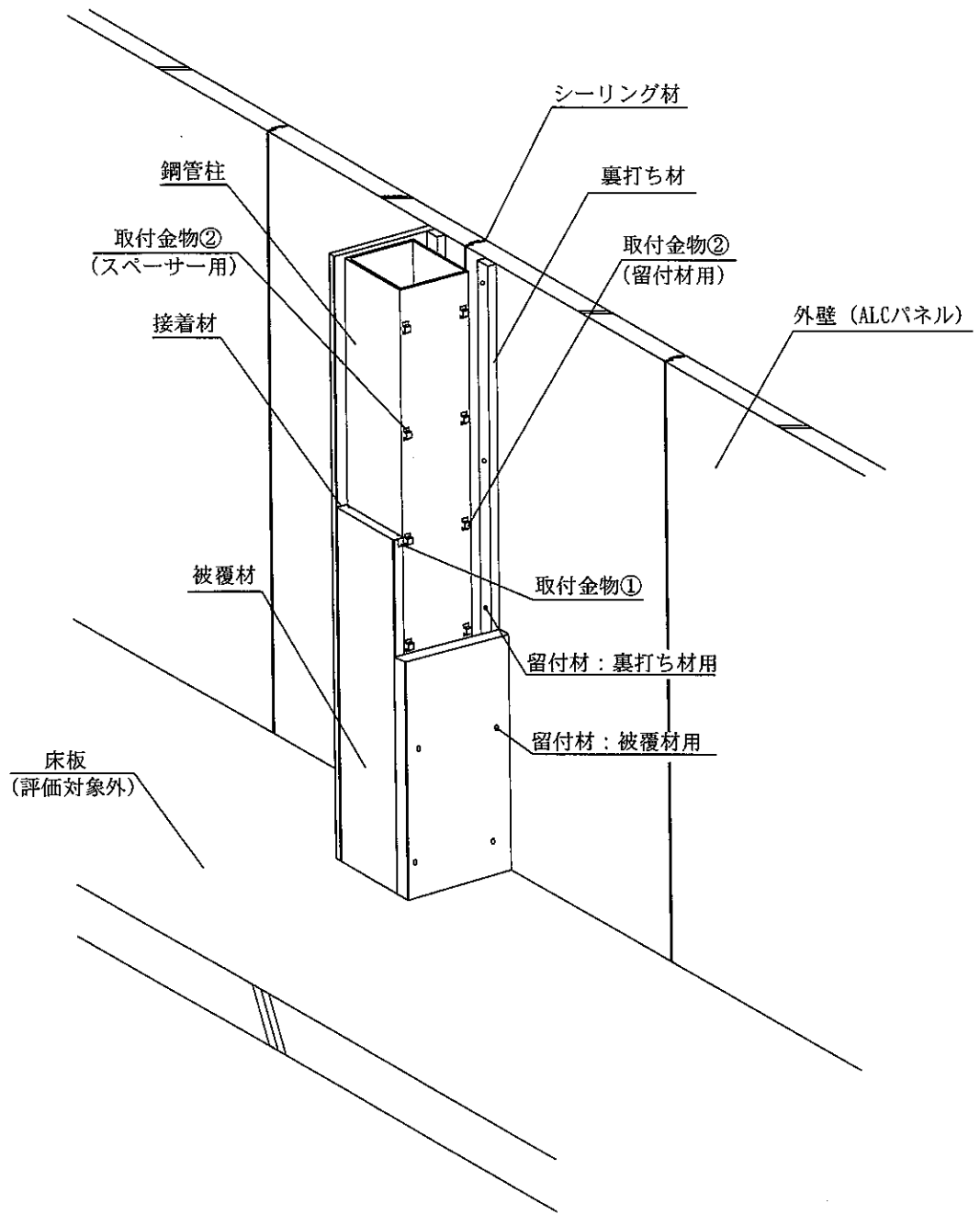
施工図を図4に示す。

(1) 外壁の施工

ALCパネルの施工は、JASS 21 ALCパネル工事に準拠して行う。

(2) 被覆材（ALCパネル）の施工

- 1) 躯体鋼管柱に予め被覆材及び取付金物②を取付けるための墨を出す。
- 2) 躯体鋼管柱に取付金物②を溶接して取付ける。
- 3) 外壁と平方する被覆材に取付金物①を取付間隔450mm以下となるように取付ける。
- 4) 次いで、直交方向の被覆材を取付金物①及び取付金物②の位置に留付材を用いて取付ける。
- 5) 留付材の頭は、被覆材の表面より5～10mm埋込み、埋込み部に埋戻し材にて埋める。



透視図

図4 施工図